

H27 年度用システムと H28 年度用システムの使い分け例

①平成 27 年度用学校用システム（主に前期転学、後期、後期転学）

②平成 28 年度用学校用システム（需要報告用、H27 受領報告用）

と 2 個システムが必要なこと。（）書きのように使い分けること。各学校に①②の区別の徹底等が必要です。

Ver1_5_3_教科書事務執行管理システム（学校用）

わかりやすいようにデスクトップに教科書事務執行管理システムのフォルダを作成します。



フォルダの中は下図のように H27、H28 と 2 個作成します。ここは任意のフォルダ名ですから使いやすいように工夫してください。

名前	更新日時	種類
平成27年度受領冊数集計用	2015/06/21 9:32	ファイル フォルダー
平成28年度需要数集計用	2015/06/20 12:33	ファイル フォルダー

①平成 27 年度用学校用システム（主に前期転学、後期、後期転学）の内容は下記のようになります。

名前	更新日時	種類	サイズ
学校用	2015/06/21 11:32	ファイル フォルダー	
設置者用	2015/06/21 11:09	ファイル フォルダー	
学_27年度_0001_需要提出データ_一般_A.csv	2015/06/21 9:32	Microsoft Excel ...	1 KB
学_27年度_0001_需要提出データ_目録_A.csv	2015/06/21 9:31	Microsoft Excel ...	3 KB
設_27年度_001_01_採択教科書配布データ_B.csv	2015/06/20 15:59	Microsoft Excel ...	90 KB
設_27年度_001_採択教科書配布データ_B.csv	2015/06/20 15:59	Microsoft Excel ...	89 KB
設_27年度_001_需要提出データ_目録_B.csv	2015/06/20 17:34	Microsoft Excel ...	3 KB

②平成 28 年度用学校用システム（需要報告用）の内容は下記のようになります。一般図書があれば別に提出データが存在します。

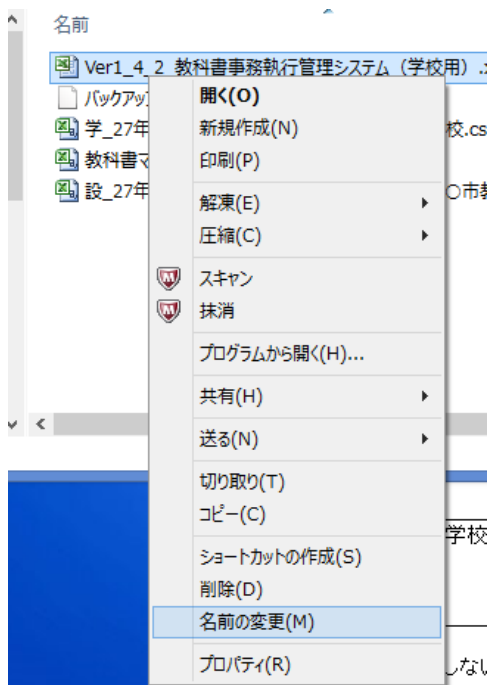
名前	更新日時	種類	サイズ
A平成28年度需要数集計用（学校用）.xls	2015/06/21 11:30	Microsoft Excel ...	28,251 KB
教科書マスタVer.1.7.1.csv	2015/06/20 12:35	Microsoft Excel ...	411 KB

設置者用システム、都道府県用システムも同様に 2 個フォルダを作成して運用して頂ければと考えます。

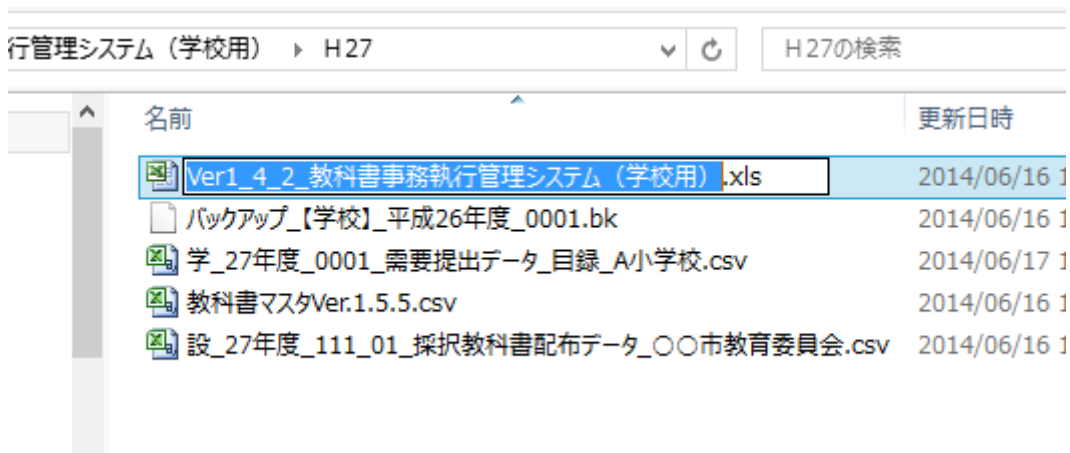
参考

ファイル名の変更方法（フォルダも同様です）

ファイルを選択して右クリックします。



ファイル名が反転します。








反転した箇所に「A 小学校（学校用）」と修正変更します。

エンスタム (子校用) > H2/



H2/01検索

名前	更新日
 Ver1_4_2_A小学校 (学校用) .xls	2014/0
 バックアップ_【学校】_平成26年度_0001.bk	2014/0
 <input checked="" type="checkbox"/> 学_27年度_0001_需要提出データ_目録_A小学校.csv	2014/0
 <input checked="" type="checkbox"/> 教科書マスタVer.1.5.5.csv	2014/0
 <input checked="" type="checkbox"/> 設_27年度_111_01_採択教科書配布データ_〇〇市教育委員会.csv	2014/0